

製品名: PMCA1 (2Y18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16299**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,IF-P 1:50-1:200
分子量	135kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP2B1
別名	ATP2B1; PMCA1;
遺伝子 ID	490.0
SwissProt ID	P20020
免疫原	ヒト PMCA1 の合成ペプチド

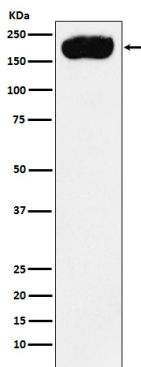
背景

このマグネシウム依存性酵素は、細胞外へのカルシウムの輸送と結合した ATP の加水分解を触媒します。細胞質から細胞外空間へのカルシウムの輸送と結合した ATP の加水分解を触媒し、それによって細胞内カルシウムの恒常性を維持します。細胞内カルシウム濃度と一酸化窒素産生の調節を介して血圧調節に役割を果たし、血管平滑筋細胞の血管収縮を調節します。腸からのカルシウムの吸収を介して骨の石灰化を正に制御します。前破骨細胞における RANKL 誘導性カルシウム振動を制御し、成熟破骨細胞におけるカルシウム排出を媒介することにより、破骨細胞の分化と生存に二重の役割を果たします（類似性による）。内皮細胞における AKT1 活性化と NOS3 活性化を制御することにより、カルシウム/カルモジュリンシグナル伝達経路を介してインスリン感受性を制御します（PubMed:29104511）。シナプス小胞におけるカルシウムとプロトンの動態を調節することにより、シナプス伝達に役割を果たす可能性があります。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の PMCA1 発現のウェスタンプロット解析。